

しょうがっこうをおくる会 様



プラン特別プロジェクト
ネパールにおける小学校建設プロジェクト
【完了報告書】



ネパールの対象校の子どもたち

公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン
2019年5月28日

■実施地域

本プロジェクトは、ネパール西部、ドルパ郡で実施いたしました。



【プラン・インターナショナルのネパールでの活動】

- 1978年より活動を開始。
- 現在は首都カトマンズにある国統括事務所と7つの現地事務所を拠点として住民参加型開発活動に取り組む。

■ 背景

【ネパールの概況】

- ネパールは世界最高峰のエベレストから海拔100mの平原地帯まで多様な地理的環境をもつ内陸国で、この険しい地形が開発をさらに困難にしています。
- 都市部と農村部の地域格差が拡大しており、農村部に住む女の子やダリット(カースト制度の外に位置づけられた最下位層の低い人々)、少数民族、障がい者など社会的弱者の生活は過酷な状況にあります。
- 学校に通えず、十分な基礎教育を受ける機会が与えられない子どもが多く存在します。

【ドルパ郡の現状】

- ドルパ郡は、都市から遠く離れ、取り残された山岳地域の1つです。
- 多くの学校で設備や教材が不足しており、その結果同郡の非識字率は42%(女性は55%)と非常に高い水準にあります。
- 教師は十分なトレーニングを受けていません。

【対象校シュリー・サンダー・シェルパ小学校】

- ドルパ郡中心部から16キロメートルほど離れた地域にあります。
- 1977年に設立され、郡内でも古い学校のうちの1つです。
- 教室は老朽化が激しく、児童に対して十分な広さがありません。
- 教室備品が不足し、児童数に対して教材、遊具ともに十分ではありません。
- トイレの衛生状態も悪く、給水設備は修繕が必要です。



子どもたちが安心して学べる安全のためには学習環境と衛生環境の整備が必要

■プロジェクト概要

項目	内容						
目標	ネパール西部、ドルパ郡のシュリー・サンダー・シェルパ小学校に4教室を建設し、教室用備品および教材を支給し、男女別トイレと給水設備を建設することで、子どもたちの学習環境と衛生環境の改善を目指します。						
実施期間	12ヶ月間(2018年3月～2019年2月)						
対象者	<table><tr><td>■ シュリー・サンダー・シェルパ小学校の児童</td><td>72人</td></tr><tr><td>■ 親・保護者、教師、地域代表から成る学校運営委員会およびPTA</td><td>20人</td></tr><tr><td>■ 同地区の住民</td><td>約100世帯</td></tr></table>	■ シュリー・サンダー・シェルパ小学校の児童	72人	■ 親・保護者、教師、地域代表から成る学校運営委員会およびPTA	20人	■ 同地区の住民	約100世帯
■ シュリー・サンダー・シェルパ小学校の児童	72人						
■ 親・保護者、教師、地域代表から成る学校運営委員会およびPTA	20人						
■ 同地区の住民	約100世帯						
活動内容	■ 4教室の建設 ■ トイレ(男女各2)、1 給水設備の建設 ■ 教室用備品、教材の支給 ■ 教師トレーニングの実施 ■ 保護者向けトレーニングの実施						

■経過

プロジェクトは2018年3月に開始し、2019年2月に活動を無事完了しました。

実施計画の策定

2018年3月～4月

- パートナー団体とプロジェクトの活動に関する合意締結
- 学校運営委員会と、パートナー団体が集まり、プロジェクトの実施計画を協議、確認
- 保護者、教師、PTA、学校運営委員会、地方行政区の代表、パートナー団体が集まり、プロジェクトの実施計画、コミュニティの貢献範囲や持続性について協議、確認

建設工事

2018年4月～8月

- 建設予定地の整地
- 石の切り出し、成形、建設地への運搬
- 建設に必要な砂の確保及び運搬
- 森林組合からの免許を受け、木材の切り出し。コミュニティ住民も協力して、木材を運搬
- 校舎およびトイレ建設開始
- パートナー団体、校長、学校運営委員会代表及びメンバー、地方行政区長が連携し、定期的にプロジェクトの進捗状況を確認
- エンジニアによる技術面の助言及びモニタリングの実施



建設中の校舎外観



屋根が取り付けられた校舎



建設中の校舎と児童たち
校舎横には建設中のトイレも見えます。



左官工事中の校舎外観



建設中のトイレの外観



左官工事中のトイレ内部

教室建設工事と 備品支給

2018年9月～2019年2月

- 1年生～4年生が使用する4教室の天井と床の工事完了。
- 教室の内外壁の塗装を完了。
- 就学前クラスと低学年の教室の床にカーペットを敷き、テーブルを配置。子どもたちが過ごしやすい学習環境を整備。
- 各4教室に学習コーナーを設置し、各本棚に本や教材合計320冊を配置。



就学前クラスの教室内部の様子。
壁には学習に役立つ絵や文字が描かれ、教材や遊具も配備しました



完成した教室内部の様子



完成した教室の外観



別の角度から見た校舎の全体像

2018年9月～2019年2月

- 男女別トイレの建設および給水設備の設置



完成した男の子用トイレ



完成した女の子用トイレ



完成した手洗い場。水栓4個を設置

教師、保護者向けトレーニング

2019年12月

- 教師と保護者24人(うち女性9人)が以下の4日間のトレーニングに参加し学んだ。
 - ✓ インクルーシブ教育について
(障がいの有無や貧富の差、都市や農村といった居住地による区別なく、すべての子どもたちが分け隔てなく学べる教育)
 - ✓ コミュニティで調達可能な材料を利用した教材や遊具の作成について
(英語／ネパール語の文字、輪、ボール、布製の人形など)



コミュニティで調達可能な材料で作成した教材や遊具



トレーニングに参加した教師と保護者たち

2018年9月～12月

- 運動場の整備により2平方メートルから8平方メートルに拡張され、子どもたちがのびのびと遊べるようになった。
- 学校の敷地を囲む壁が完成し、子どもたちにとってより安全な学校になった。



運動場に設置した手作りのシーソーと滑り台



教室に設置した手作りの本棚



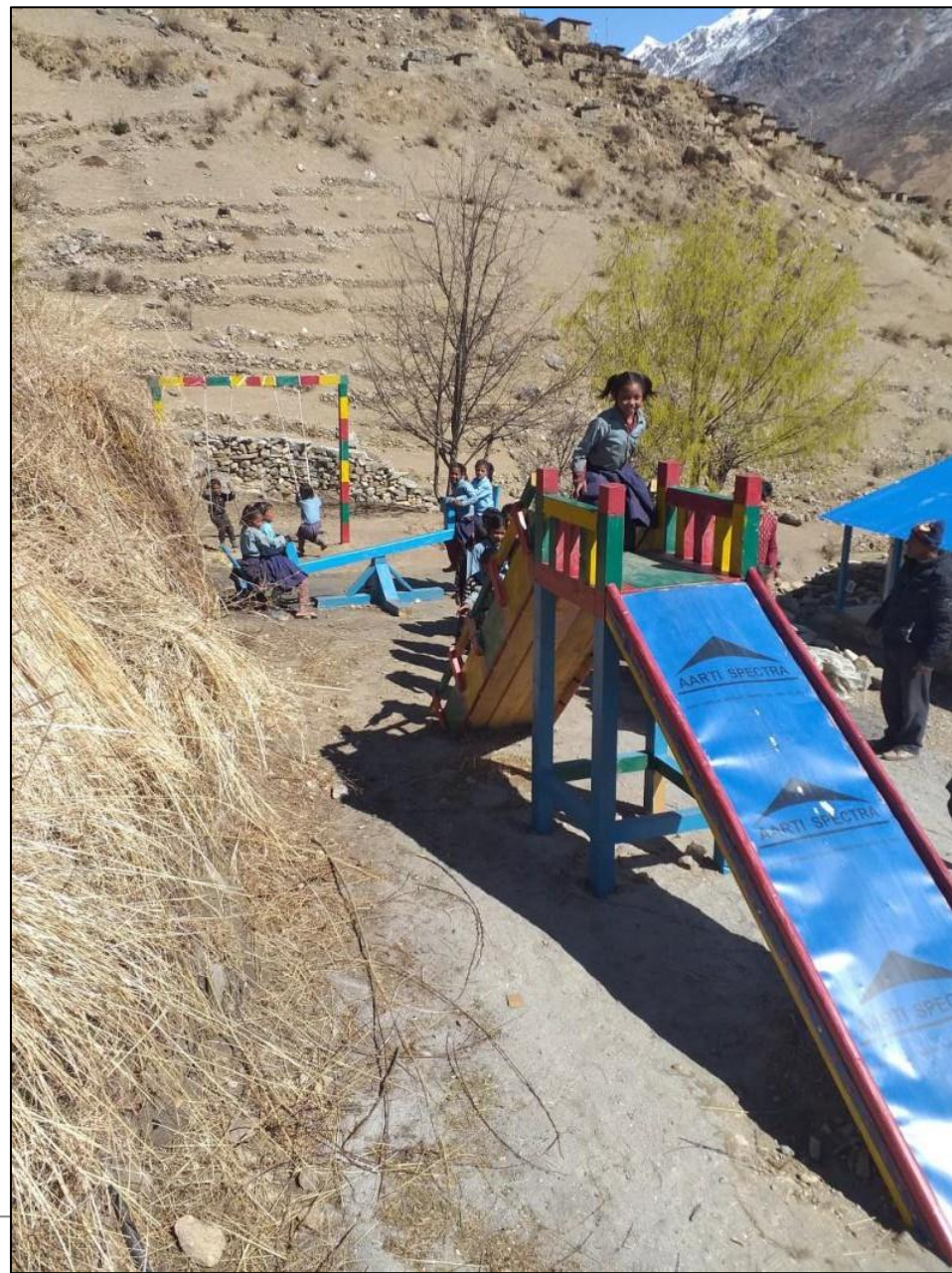
地域で調達した木材で作成した子どもが使いやすい高さのいす



運動場に設置したシーソーやブランコで遊ぶ児童たち



校舎の前で整列する児童たち



滑り台で楽しそうに遊ぶ児童

小学校の外壁に設置された記念プレート



施設正面の壁面には、貴重なご支援に感謝して記念プレートが設置されました。

【記念プレート】



プレート記:

シュリー・サンダー・シェルパ小学校

トゥツパタラ、カイケ地域第4区、ドルパ郡

この校舎はしょうがっこうをおくる会様のご支援を得て、コミュニティ、サンダー・シェルパ小学校、カイケ地域、KIRDARC・ネパール、プラン・インターナショナル・ネパールの協力により完成しました。校舎は2019年2月27日に落成し、コミュニティに引き渡されました。

■ 成果

- ネパール西部、ドルパ郡のシュリー・サンダー・シェルパ小学校に4教室が建設され、運動場の整備、境界壁の設置、教室用備品および教材を支給した結果、子どもたちが、子どもにやさしい安全・安心な環境で学び、遊ぶことができるようになった。
- 男女別トイレと給水設備の建設により、子どもたちの衛生環境が整備された。
- インクルーシブ教育のトレーニングを実施した結果、すべての子どもたちが分け隔てなく学べる教育の基本的な知識を保護者や教師が身に付け、実践する基盤が培われた。
- 教材や遊具作成のトレーニングが実施された結果、保護者や教師がコミュニティで調達可能な材料による教材や遊具作成の知識と技術を得て、コミュニティ内での教材や遊具作成および維持管理が可能になった。

■ SDGs(持続可能な開発目標)への貢献

本プロジェクトの実現は、SDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)※の目標4「すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」目標5「ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う」目標6「すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する」に貢献します。

- ドルパ郡のシュリー・サンダー・シェルパ小学校に4教室を建設し、教室用備品および教材を支給した結果、対象校に通う子どもたちの学習環境が整備され、子どもたちの学習の基盤が培われる。
- 同校に男女別トイレ・給水設備を建設することにより、子どもたちの保健衛生環境の改善と健康状態の向上が期待できる。
- 保護者や教師たちがインクルーシブ教育のトレーニングを受けることで、すべての子どもたちが分け隔てなく学べる教育に関する理解が深まり、今後の持続可能性の高まりが期待できる。
- コミュニティで調達可能な材料による教材や遊具作成のトレーニングにより、保護者や教師たち自身による教材や遊具作成が可能になり、長期的な維持管理が期待できる。

※SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)は、2015年9月に国連の全加盟国193か国によって承認。2030年までに「誰も置き去りにせず世界から貧困を根絶する」こと、そして「地球を持続可能なものにする」ことを目指している。17の目標と169のターゲットから構成され、教育、保健・衛生、ジェンダー平等、雇用改善などとともに、気候変動、都市問題、生態系の保全、平和構築など、社会・経済・環境という3つの側面を含む包括的な内容となっている。プランはこのSDGsに呼应しながら活動を継続。

■ 現地の声

「わたしはこの学校に通っている5年生です。きれいな学校ができて、とてもうれしいです。これまでの教室はぼろぼろで、せまかったです。学校の壁もこわれていました。友だちもみんな喜んでいます」(タラ／5年生)

「素晴らしいお力添えにより、このような遠隔地域に学校とトイレが完成し、給水設備も設置されました。新しい校舎は広々した教室に学習コーナーもあり、天井や床も整備されました。施設が整ったことで、授業も行いやすくなります。ご寄付に心より感謝申し上げます」
(プルスオッタム・リマル／校長)

「充実した施設とともに新しい学校が完成し、喜びのあまり感謝の言葉が見付かりません。ご支援のおかげでみんなの夢が実現しました。ご支援をくださいます、本当にありがとうございます」
(ガネシュ・ジャンキール／学校運営委員会代表)

「給水設備、敷地を囲む壁、男女別トイレを完備したきれいな校舎が完成するとは、想像できませんでした。十分な数の教室備品、遊具、本や教材も揃いました。設備が充実したことで、子どもたちが毎日通学したいという気持ちが高まると思います。塗装を終えた校舎はとても美しく、みんな感嘆しています」
(サルキニ・ラナ／学校運営委員会メンバー)

「木製の窓枠とドアの設置、備品や遊具の作成を担当し、誇らしく思います。当初の計画通りに建設を終えることができました。地元で職を得ることができて、家族の収入も増えました。素晴らしい支援をくださいます、誠にありがとうございます」
(ビシュネ・B.Kとバハドゥール・B.K／建設を担当した住民)

ネパールにおける小学校建設プロジェクトへのご支援をありがとうございました



■問い合わせ先

寄付受付担当: 景山 さくら

TEL: 03-5481-7100 / FAX: 03-5481-6200

Email: sakura.kageyama@plan-international.jp